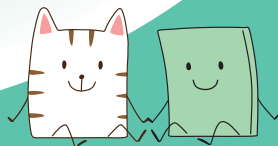
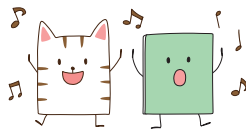
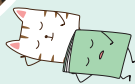


おひげで絵本

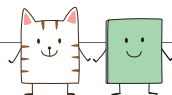
～0歳からのオススメ絵本～







目次



“おひざで絵本”の紹介

■ “おひざで絵本”って何？	2
■ “おひざで絵本”では何をするの？	2
■ とらねこ文庫	2

“おひざで絵本”の絵本リスト

■ 絵本リストの見方	3
------------	---

わらべうた、童謡の絵本

■ わらべうたが与えてくれるもの	4
■ わらべうた、童謡の絵本リスト	4-9
■ わらべうたを歌いましょう～	9

初めて読んでほしい絵本

■ 赤ちゃんに絵本を読むとしたら…	10
■ 初めて読んでほしい絵本リスト	10-13

0歳から読んでほしい絵本

■ 0歳から読んでほしい絵本リスト	14-31
-------------------	-------

2、3歳から読んでほしい絵本

■ 2、3歳から読んでほしい絵本リスト	32-35
---------------------	-------

4、5歳から読んでほしい絵本

■ 4、5歳から読んでほしい絵本リスト	36-39
■ 迷ったときはロングセラー絵本	39

■ 掲載絵本索引	40
----------	----

“おひざで絵本”の紹介

“おひざで絵本”って何？

「子育て中のみなさんに、ゆったりした時間を持ってほしい。親子で笑顔になってほしい。」

そんな思いで始まったとらねこ文庫の“おひざで絵本”。

絵本を読んでわらべうたでふれあって遊んで、楽しい時間を過ごしましょう！

☆スタッフが読む絵本を皆で楽しむ時間と、好きな絵本を親子で読む時間があります。

会場に並べられた絵本の中からお気に入りの絵本をみつけてください。

☆乳幼児の育ちに欠かせないわらべうたを歌ってふれあって遊びます。

繰り返し歌うことで自然と口ずさめるようになります。



“おひざで絵本”では何をするの？

プログラムは前半と後半に分け、

開始前と間に親子で自由に絵本を読む時間をとっています。

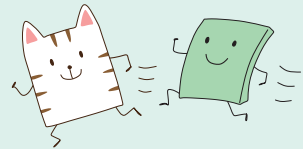
前半はわらべうたと絵本。

後半はお手玉を使ったわらべうたと絵本。

参加している子どもたちの年齢や参加人数によって内容を変えています。

主役は子どもたち。

子どもたちが無理なく楽しく参加できるように工夫をしています。



とらねこ文庫

誰でも利用できる家庭文庫として1999年10月に金沢市で誕生。

本の楽しさをたくさん子どもと大人に伝えてきました。

子どもの本や読書についての講座や研修会、

講演会などを開催して学びの機会を提供しています。

本と人、人と人をつなぎたい。

すべての人に開かれた本のある居場所に

したいと願っています。

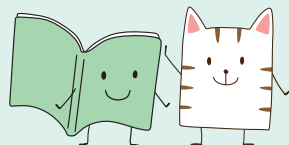


“おひざで絵本”の絵本リスト

絵本リストの見方

☆0歳～6歳くらいまでの子ども向け絵本のリスト

0、1、2歳児向けの絵本を中心に、
6歳くらいまでの子どもが楽しめる絵本を載せています。



☆子育て中の人々の声を集めたリスト

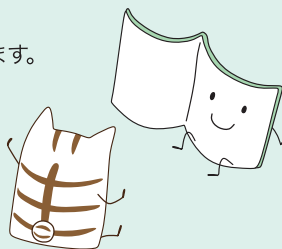
“おひざで絵本”で紹介されている絵本や、
家庭で読んでいる絵本についてコメントを寄せてもらいました。
子どもたちがどんな絵本をどんなふう楽しんでいるかを知ることができます。

☆年齢は目安です

0、1、2歳児向けの絵本は年齢が上になっても楽しめるものも多々あります。
子どもによって成長の仕方が違うように、
1冊の絵本をどの年齢で楽しむかはそれぞれ違います。
年齢にとらわれずに、子どもの様子を見て喜びそうな絵本を選んでください。
1回読んで興味を示さなくてもあきらめなくて、
少し時間をおいて読むと反応が変わる場合もあります。



**このリストを使って、焦らずゆったり
絵本と付き合いってください**



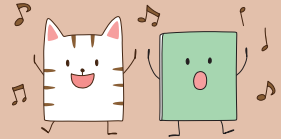
わらべうた、童謡の絵本

♪ わらべうたが与えてくれるもの

わらべうたは、ことば(歌詞)、うた(音楽)、あそびの3つが混じりあって伝承されてきました。

- ◎ わらべうたは、子どもの心と体に心地よく響きます。
- ◎ わらべうたは、母語(子どもが生まれる前から耳にしている)で歌われます。
- ◎ わらべうたは、音域が狭く幼児でも無理なく歌えます。
- ◎ わらべうたは、くりかえし歌うことで子どもの心に残ります。
- ◎ わらべうたは、歌いながらふれあうことができます。

わらべうたえほんを活用してわらべうたを歌ってみませんか？



[いちじく にんじん]

「いちじくにんじん さんしょに
しいたけ…」赤ちゃんになじみ
のないものが出てきても、絵が
あるからだいじょうぶ。リズム
よく歌って楽しんで。

案／大阪YMCA 千里子ども図書室
絵／ごんもり なつこ
出版社／福音館書店
初版発行／2012年9月

おひざで絵本でお手玉
を使って読んでもらっ
て以来歌っています。

にんじん、しいたけ
などは、八百屋さんで
「あれ!」と指さして興
味を持ち出しました。
(1歳半児のママ)



[まてまてまて]

ハイハイやアンヨを始めた子ども
たちは追いかっこが大好き。そんな
子にぴったりのわらべうた。仲良し
ぬいぐるみが追いかけてきて
最後はお母さんが「つかまえた!」

案／こばやし えみこ
絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2005年

追いかけてこ感をだす
ためにごちよごちよすると
とても喜んでました。
(2歳4か月児のママ)

追いかけてくる動物
が増え、「あ!」と
指さして喜びます。
(1歳2か月児のママ)



わらべうた、童謡の絵本

[ととけっこう よがあげた]

元気なニワトリさんが色々な動物の子どもたちを起こして歩きます。寝坊すけの子もこんなうたで起こされればぐずらないかも。

案／こばやし えみこ
絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2005年

きれいな色、動物の鳴き声が好きで手で押さえます。
(10カ月児のママ)

朝起きた時に歌うとニコニコします。最後は「〇〇ちゃん、おきてきな」と言っています。
(9カ月児のママ)



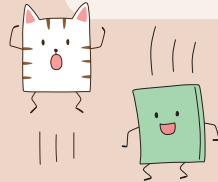
[ちびすけ どっこい]



リズムカルなうたに合わせて動物たちと男の子が元気に四股をふんで相撲の勝負。「はっけよーい のこった」で最後まで勝ち残ったのは？

案／こばやし えみこ
絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2006年

リズムよく読むと、それに合わせて足を踏み鳴らすので、遊ぶように読んでいます。
(1歳7カ月児のママ)



[せんべ せんべ やけた]

女の子がうたに合わせてままごと遊びをします。絵に描いたせんべいやお団子を網で焼くまねをしてくまさんやだるまさん、最後はお母さんに「はい、どうぞ」

案／こばやし えみこ
絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2006年

くいしんぼうの娘と、リズムカルに歌います。
(2歳児のママ)

歌いながら読むと身体をゆらし始め「はいどうぞ」のところで持っているおもちやを渡してくれます。
(1歳2カ月児のママ)



わらべうた、童謡の絵本



[どんどんばし わたれ]

リズムの良いうたに合わせて
元気に橋を渡っていくと…。
歩くのが楽しくて仕方ない！
そんな時期の子どもにピツ
タリ。

案／こばやし えみこ
絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2018年

動物がでてくると声を上げて
喜びます。機嫌が悪い
時に「ポンッ」「がおっ」と
いうだけでにこにこします。
(10ヵ月児のママ)

一緒に歌うと喜びるので、抱っ
こして歌いながら歩いてい
ます。絵をすぐ見えています。
(9ヵ月児のママ)

[あがりめ さがりめ／あんたがた どこさ]

親子が自然に触れ合えるわら
べうた。抱っこで揺すったり
顔をさわったりで泣いている子
も不思議にニコッ。「いっぱん
ばし」や「げんこつやまのためき
さん」など15曲を紹介。

絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／1994年～

お互いの顔で上がり目
下がり目を作って遊ぶ
と大喜びです。
(2歳児のママ)

お手玉で歌って遊び
ます。「～さ」の部分で
リズムに乗ってます！
(2歳4ヵ月児のママ)



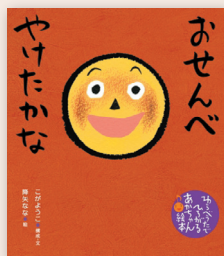
[おせんべ やけたかな]

「お・せ・ん・べ・や・け・た・か・な」
でページをめくると、「やけた!」。
一枚ずつ、おせんべが焼けて
いきます。赤ちゃんといっしょに
指さしながら楽しんで。

構成・文／こが ようこ
絵／降矢 なな
出版社／童心社
初版発行／2018年9月

「おせんべやけたかな」
のリズムに合わせて、
一緒に指を動かして
いました。

にこにこしながら、絵
本のかわいなおせんべ
を見えています。
(1歳4ヵ月児のママ)



わらべうた、童謡の絵本

[ねーずみ ねーずみ どーこ いきや?]

ねずみやうさぎは、どこへいくのでしょうか。ページをめくると、みんなすてきなところへ! わらべうたの心地よいリズムといっしょに、大好きな人にうけとめてもらう喜びが広がります。

構成・文/こが ようこ

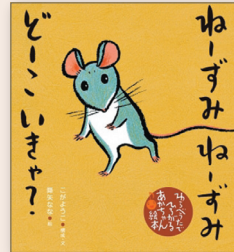
絵/降矢 なな

出版社/童心社 初版発行/2018年9月

リズムによって思わず体を横に動かしていました。

こちょこちょもして手遊びができる楽しい絵本です。

(1歳1か月児のママ)



[へっこ ぷっと たれた]

おいっちに…と、きのこが歩いていきます。ページをめくると、ぷっ! だれかがへっこ(おなら)をたれました。リズムカルな言葉とユーモラスな絵に、心もはずみます。

構成・文/こが ようこ

絵/降矢 なな

出版社/童心社

初版発行/2018年9月

「ぷっ」の音が好きです。絵がカラフルでユーモアがあり、楽しいです。(10か月児のママ)

「ぷっ」のところは子どもにそっと息を吹きかけます。そのページが好きで何度も繰り返します。(1歳4か月児のママ)



[あぶく たった]

おなじみのわらべうたが楽しい絵本になりました。ねずみ一家のユーモラスなお料理シーンに合わせていっしょに歌いましょう。

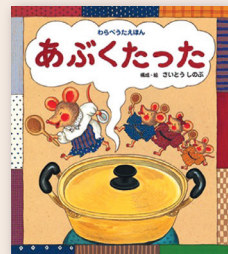
構成・絵/さいとう のぶ

出版社/ひさかたチャイルド

初版発行/2009年12月

最後のページでやっごちそうを食べられるときは、ページに手を伸ばして、むしゃむしゃ食べる真似をします。

(2歳4か月児のママ)



わらべうた、童謡の絵本



[おべんとうばこのうた]

歌詞に合わせて、擬人化されたお弁当箱が登場。そこへ、おにぎりやきざみしょうが、ごましおが現れ、お弁当箱の中へ。見て聞いて、歌って楽しい絵本。

構成・絵／さいとう しのぶ
出版社／ひさかたチャイルド
初版発行／2013年8月

歌を通してれんこんを覚え、食べる時に嬉しそうに歌っています。
(2歳児のママ)

子どもが好きな動物のお弁当を作って遊ぶと喜びます。
(小2のママ)

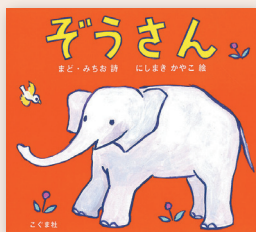
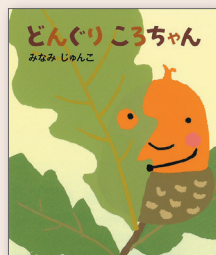
[どんぐりころちゃん]

かわいいお話になっているので歌ったり読んだり。子どもをどんぐりに見立てて歌いながら遊ぶと楽しい。楽譜も遊び方も巻末に紹介されています。

作／みなみ じゅんこ
出版社／アリス館
初版発行／2013年9月

歌いながら読むと、頭やおしりをポンポンして、ニコニコして踊り出します。
(1歳2カ月児のママ)

全身をさすってスキンシップしながら歌っています。
(4カ月児のママ)



[ぞうさん]

だれもが一度は歌ったことのある懐かしい歌。この詩を『わたしのワンピース』の作者が、敬愛するまどさんと、子どもたちへの愛を込めた絵本。赤ちゃんとお母さんの心をつなぐ一冊。

詩／まど・みちお
絵／にしまき かやこ
出版社／こぐま社 初版発行／2016年

歌うことが好きなので絵も楽しみながら一緒に歌っています。
(2歳児のママ)

わらべうた、童謡の絵本

[いっしょに うたって!]

「いぬのおまわりさん」「ぞうさん」「大きな古時計」など誰もが口ずさむような歌29曲をイメージの広がる美しい絵で描いた本。楽譜付きで歌いやすいです。

絵／ましませつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2000年

子どもを膝に座らせて絵本見ながら私が歌っています。
(4カ月児のママ)

私が歌っていると子どもも体を揺らして楽しんでくれます。
(1歳7カ月児のママ)



[うたえほん] [うたえほんII] [うたえほんIII]

つちだよしはる氏のあたたかい絵。すべての歌に楽譜がついています。赤ちゃんには、お母さんの声で歌ってあげてほしい。いつまでも、楽しく家族で歌ってほしい歌が満載。

絵／つちだ よしはる
出版社／グランママ社
初版発行／1988年～

ママは懐かしく、子どもはお気に入りの歌が必ず見つかります。

何度も歌っているうちに子どもが自分で歌うようになり癒されます。

(2歳児のママ)



わらべうたを歌いましょう

♪ おちゃをのみにきてください ♪



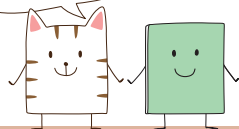
お ちゃ を の み に き て く だ さ い は い こ ん に ち は



い ろ い ろ お せ わ に な り ま し た は い さ よ う な ら



このQRコードからおひざで絵本での歌声が聴けます



初めて読んでほしい絵本

📖 赤ちゃんに絵本を読むとしたら…

赤ちゃんにとっては絵本も最初はおもちゃの一つ。

なめたり、かんだりもします。

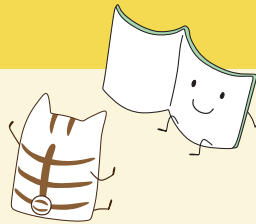
根気よく絵本を開いて一緒に読んでいけば絵本の仕組みがわかってきます。

離乳食と同じで、最初から硬いもの(ストーリーのある物語)は読めません。

赤ちゃん絵本を選ぶポイントは繰り返しと心地良いリズム。

赤ちゃんは同じ絵本を繰り返し読んでもらうのが好きです。

赤ちゃんの機嫌がいい時にゆったりと絵本を楽しんでくださいね。



[がたん ごとん がたん ごとん]

「がたんごとん がたんごとん」
やってきたのは真っ黒な汽車。
哺乳瓶を先頭に赤ちゃんに
身近なものを乗せていきます。
優しい色使いが赤ちゃんに
ぴったり。

作 / 安西 水丸
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1987年6月

「のせてくださいー」の
とこでママがお辞儀
するのをマネします。

繰り返しの音がおも
しろいみたいで、お気
に入りでよく読んでと
持ってきます。
(1歳児のママ)



[きゅっ きゅっ きゅっ]

赤ちゃんがぬいぐるみの動物
たちとスープを飲み始めます。
あれあれ、うさぎさんがこぼ
して、くまさんがこぼして…。
お世話をする赤ちゃんの表情
がかわいい。

作 / 林 明子
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1986年6月

「ふいてあげるね、
きゅっきゅっきゅっ」
と言いながら手を拭
いてあげていました。

6カ月くらいから幼稚園
くらいまで長く読んで
いました。
(小5のママ)



初めて読んでほしい絵本

[ねこが いっぱい / いぬが いっぱい]

赤ちゃんにとって身近なねこ
と犬。おおきいねこ、ちいさい
ねこ、ふとったねこ、やせたねこ。
のびやかに描かれたねこと犬
が、赤ちゃんの心をとらえます。

作 / グレース・スカル
訳 / やぶき みちこ
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1986年9月

1歳ころから読んでい
ます。かわいいねこが
たくさん出てきます。

最後の「にゃーお」を
一緒に言います。
(3歳児のママ)



[いない いない ばあ]



1967年、日本初の本格的な
赤ちゃんのための絵本として
誕生した絵本! 読み進めるたび
に、赤ちゃんが笑ってくれます。
ぼろぼろになるまで楽しんで。

文 / 松谷 みよ子
絵 / 瀬川 康男
出版社 / 童心社
初版発行 / 1967年4月

1歳くらいから興味を示し
てくれました。自分で持って
きて読もうとしています。
(1歳5か月児のママ)

一緒に「ばあ!」と言って楽
しんでいます。最後のページ
は手で隠して見せるけど、早
く見たい!とせかされます。
(1歳7か月児のママ)

[くっついた]

ページをめくると…くっつい
た! そのくり返しが楽しい。
金魚、アヒル、ゾウ、サルが
思い思いのやり方で「くっつ
いた」自然と触れ合いがうま
れる絵本。

作 / 三浦 太郎
出版社 / こくま社
初版発行 / 2005年

ほっぺがくっつく安心感
や幸せな気持ちが伝わり
親子で真似します。
(0歳児のママ)

子どもと顔や手を合わ
せてスキンシップをしな
がら読めて癒されます。
(6か月児のママ)



初めて読んでほしい絵本



[かん かん かん]

「かんかんかん ○○れっしゃ
がとおります」踏切を通過して
いくのはユニークな列車たち。
次は何が来るのかな？リズム
カルに読んで楽しんで。

文／のむら さやか
制作／川本 幸 写真／塩田 正幸
出版社／福音館書店
初版発行／2010年6月

「ぶーぶー」と言っ
て車を指さしたりして
楽しそうです。
(2歳3か月児のママ)

歌うように読んでいま
す。散歩中に電車を見て「かん
かんかん♪」と歌うと体を
揺らして喜びます。
(10か月児のママ)

[じゃあじゃあ びりびり]

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」
「みず じゃあじゃあじゃあ」
楽しく明解な絵とリズムカル
なことば。音から物を認識す
る絵本。

作・絵／まつい のりこ
出版社／偕成社
初版発行／1983年7月

言葉が出はじめた頃、
読んでるうちにマネ
して言うように！何度
も持ってきて繰り返し
楽しめました。

イメージが湧き、生活
の色々なシーンで再現
しています。
(1歳児のママ)



[もこもこもこ]

「しーん、もこもこ、によきによき」
とふくれあがったものは、みる
まに大きくなってパチンとはじ
けた。詩人と異色の画家がおり
なす不思議でおかしな世界。

作／たにかわ しゅんたろう
絵／もとなが さだまさ
出版社／文研出版
初版発行／1977年4月

言葉は少なくとも
覗き込むように見て
くれます。

「もこ」というと笑顔
になって「・・・こ」と
片言のことばで真似
します。
(1歳2か月児のママ)



初めて読んでほしい絵本

[くだもの]

これって本物? なんておいしそう! 「さあ、どうぞ」と言われたら思わず手が伸びます。赤ちゃんが身近な物の形と名前を覚えるのにぴったりの認識絵本。

作 / 平山 和子
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1981年12月

絵にくぎ付けで、ページごと食べます。
(10ヵ月児のママ)

0歳の時に買ってからずっと読んでいます。2歳になると、おまごのように遊びながら読めます。
(2歳1ヵ月児のママ)

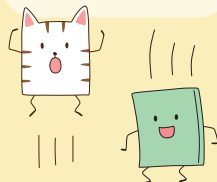


[あかちゃんのえほん - 全5冊 -]

『あそび』『かぞく』『しごと』『したく』『ともだち』赤ちゃんに身近な物や人をとりあげて興味を引きます。手のひらサイズの文字のない絵本。紙も厚くて安心。

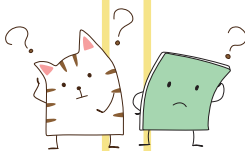
作 / ヘレン・オクセンバリー
出版社 / 文化出版局
初版発行 / 1981年12月

かつての我が子を思い出します。ダンボールで遊ぶページが大好きです。
(小1のママ)



絵本を読んでいて途中でページをめくってしまったり、別の本を持ってきたりします。最後まで読み続けた方がいいですか?

無理に最後まで読み続けることはありません。絵本は途中でやめても、好きなページだけ見てもかまいません。まずは気楽に絵本と触れあって絵本に親しんでください。



赤ちゃん絵本には擬態語や擬音があってどう読んでいいか迷います。文字のない絵本もあって困ります。どう読んだらいいですか?

読み方に正解はありません。擬態語や擬音が出てくる絵本は感じるままに声に出してみてください。文字のない絵本は絵を見て思いつくことを言ってみたらいいですよ。

0歳から読んでほしい絵本



[いいおかお]

ふうちゃんが、いいおかお。ねこも、いぬも、まねっこして、いいおかお。ぞうさんまでやってきて…？ふうちゃんと動物たちのすてきな表情に心がほっこりします。

文／松谷 みよ子
絵／瀬川 康男
出版社／童心社
初版発行／1967年4月

「～ちゃんがいいお顔をしていました」というと笑ってくれます。大好きで、何度も読みました。
(0歳児のママ)

最後の「おいしいはどここ？」のところで毎回笑い声をあげています。
(10か月児のママ)

[おつむてんてん]

さっちゃんが「おつむてんてん おくちはあわわ」それを見ていたねこがまねて、犬がまねて、あひるがまねて…。柔らかな色あいの優しい絵。思わず笑顔に。

作／なかえ よしを
絵／上野 紀子
出版社／金の星社
初版発行／1980年9月

最初は「あわわ」最近では「おつむてんてん」にハマって遊びながら見えています。



[おつきさまこんばんは]

ねこたちが屋根の上で寝そべっていると、空が明るくなって「おつきさまだ」そこへ雲が現れておつきさまを隠してしまいます。おつきさまはどうなるかな？

作／林 明子
出版社／福音館書店
初版発行／1986年6月

寝る前にいつも読んでいます。お月様がニコッと笑っているときと真似して笑っています。
(1歳児のママ)



0歳から読んでほしい絵本

〔くつくつあるけ〕

初めてくつをはいて外を歩くのは子どもにとって大きな喜び。はいてもらったくつだって、嬉しいに違いありません。そんなくつが主人公になって描かれています。

作／林 明子
出版社／福音館書店
初版発行／1986年6月

くつがリズムカルに歩いていく様子がとてもかわいい絵本です。
(3歳児のママ)

「びよんびよん」のところで一緒に跳ぶのが楽しそうです。
(2歳4か月児のママ)



〔おててがでたよ〕

自分で服を着るのってむずかしい。最初に頭にかぶって、手を出して、頭を出して…。なかなかうまくいかないね。子どもたちの共感をよぶ絵本。

作／林 明子
出版社／福音館書店
初版発行／1986年6月

洋服を自分で着たがるようになった頃、手・頭・足を意識しながらマネしてできるようになったことを一緒に喜びました。
(2歳児のママ)



〔バーニングガムのちいさいえほん〕

『ゆき』『もうふ』『がっこう』『いぬ』『とだな』『ともだち』『うさぎ』『あかちゃん』小さい子どもの日常の暮らしや遊びをシンプルな言葉と絵で描いています。

作／ジョン・バーニングガム
訳／谷川 俊太郎
出版社／富山房
初版発行／1976年6月

バーニングガムの絵、谷川俊太郎の訳、何気ない日常が描かれていて心がほっこりします。
(小2のママ)

パパの愛読書はバーニングガム。当時の本を今でも大事にとっています。
(小2のパパ)



0歳から読んでほしい絵本

[みんなでね / ばいばい]

みんなで過ごす楽しい一日。みんなでまんまとべたり、ぶーらんしたり、おしっこしたり。日常生活の出来事に、共感をよぶ絵本。

作・絵 / まつい のりこ
出版社 / 偕成社
初版発行 / 1983年7月

1歳前から本人が持つてくるので読んでいました。

「こんにちは」というセリフだけなので出てくる動物の名前も声に出しながら読んでいました。

(2歳4か月児のママ)



[だるまさんが] [だるまさんの] [だるまさんと]

左右に動くだるまさん。ページをめくるたび笑いの渦に引きこまれる、とびきりゆかいな「だるまさん」シリーズ。

作 / かがくい ひろし
出版社 / ブロンズ新社
初版発行 / 2008年1月

膝の上に子どもを乗せて、ゆらゆらしながら親子で楽しみました。(8か月児のママ)

読みながらよく真似をします。寝る前にお父さんが読みます。(2歳1か月児のママ)



[なーらんだ]

バラバラに散らばっていたものがページをめくると「なーらんだ」。親子の笑顔も並んで嬉しさいっぱい絵本。並べて遊ぶことが大好きな子どもたちに。

作 / 三浦 太郎
出版社 / こくま社
初版発行 / 2006年

アリを見てニコニコします。色が鮮やかなのが絵に引き付けます。(9か月児のママ)

パパ・ママの登場が身近なのが1歳過ぎから好きです。なーらんだ! を声を合わせて読みます。(2歳4か月児のママ)



0歳から読んでほしい絵本

[くらいくらい]

「まっくらくらくらーいくら
い」暗闇に浮かぶシルエット。
「でんきをつけてちょうだい」
スイッチを入れると…？上手
に電気をつけられるかな？

作／はせがわ せつこ
絵／やぎゅう げんいちろう
出版社／福音館書店
初版発行／2006年10月

シルエット当てもでき
て、親も楽しめます。
(2歳8か月児のママ)

電気をつけるのが
楽しくて何度も読んで
います。

(2歳児のママ)



[めんめんばあ]

赤ちゃんが大好きな「いない
いないばあ」遊びをもとにした
絵本。「めんめんばあーっ！」
と言って登場する動物たちの
表情がなんともユニーク。

作／はせがわ せつこ
絵／やぎゅう げんいちろう
出版社／福音館書店
初版発行／2006年10月

「いないいないばあ」と
少し違うフレーズが面
白く「ばあ」とめくって
繰り返し見えています。

動物に名前がついて
いるのも、親しみが
持てたようです。

(1歳児のママ)

[おでかけ ばいばい]

「おでかけおでかけピタコン
ピタコン」リュックに子どもを
入れて動物たちがおでかけ。
「ばいばーい」とお見送り
したくなります。

作／はせがわ せつこ
絵／やぎゅう げんいちろう
出版社／福音館書店
初版発行／2006年10月

「ベッコヨ パッコヨ」
と足踏みして絵本を
満喫しています。

いってらっしゃい、ばい
ばい、ができるよう
になって絵本を読む時
手を振っています。

(1歳4か月児のママ)



0歳から読んでほしい絵本



[だっだあー] <愛蔵版>

初めてのことはあそび絵本に最適。音のおもしろさを身体で感じて楽しんで声に出してみてください。心が解放されていきます。

1歳半くらいから、だっだー、むちゅー、べれーの音に興味を持ってきて今は絵を見ながら一緒に舌を出したりしてます。

(2歳4か月児のママ)

作/ナムーラ ミチヨ
出版社/主婦の友社
初版発行/2010年6月

[だっころりん]

『だっだあー』と同じ作者のだっこあそび絵本。

『だっだあー』と同様に粘土でできたユニークなものたちが登場。赤ちゃんの心をつかみます。

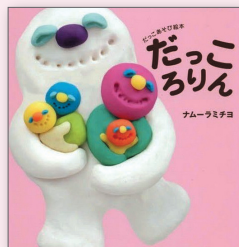
作/ナムーラ ミチヨ
出版社/主婦の友社
初版発行/2016年9月

膝にのせて「ごろーん」と揺れたり「むぎゅ」と抱きしめたりして読みます。

(1歳児のママ)

子どもが口を見ているので口を大きくあけて読んでいます。

(1歳2か月児のママ)



まるてん いろてん



[まるてん いろてん]

あか、あお、きいろ…。色とりどりのまるが並んだり、くっついたり、大きくなったり、小さくなったり。ページをめくるたびにわくわくします。

一緒に表情を付けるのが喜びます。「おおきくおおきくちいさくちいさく」で手の動作を付けるのがお気に入り。

(2歳4か月児のママ)

作/中辻 悦子
出版社/福音館書店
初版発行/2015年2月



0歳から読んでほしい絵本

[ぼんちんぱん]

「ぱんぱんしょくぱん ぼんちんぱん」リズムカルなことばに合わせて出てくるおいしそうなおパン。ちぎっていくと、あら不思議。楽しい顔のできあがり!

作 / 柿木原 政広
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 2014年4月

1歳半～大好きな絵本。リズムカルで歌うように読むと楽しんでくれます!

(2歳4か月児のママ)

“ぱん”に合わせて手を叩きながら親子で楽しんで読んでいました。

(小4のママ)



[まるくておいしいよ]

「まるくておいしいもの」ってなにか? 色とりどりの丸のシルエットを見てあてていきます。大きい子どもたちにもおすすめです。

作 / 小西 英子
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1999年5月

知っている食べ物の名前を指さして教えてくれます。何度も繰り返しリクエストされる絵本です。

(1歳2か月児のママ)

お寿司が出てくると全部食べようと必死です。

(2歳4か月児のママ)



[てんてんてん]

「てんてんてんてんとうむし」から始まって、かたつむり、ほたる、かまきり…リズムのよい言葉と特徴をとらえた大胆な絵が子どもの目を引きます。

作 / わかやま しずこ
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1998年6月

言葉を繰り返してくれます。「あ、これはだれかな」ですぐ「カマキリ!」と答えました。

(3歳児のママ)



0歳から読んでほしい絵本



[ごぶごぶ ごぼごぼ]

「ぶーん」「ぶくぶくぶく」「ぶぶぶ」鮮やかな色のまるが動き回って変化します。ところどころ穴があるので、指を入れたりのぞいたり、さわって遊べます。

作 / 駒形 克己
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1999年4月

「ぶぶぶ…」のところ
で声を出して笑います。
(6カ月児のママ)

言葉をじっと聞いてい
ます。丸い穴があいて
いるのもお気に入り!
(2歳4カ月児のママ)

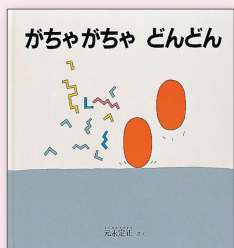
[ころころころ]

ころがり出た小さなたまが、
一列になってころころころ。
階段を上ってころころ、おりて
ころころ。「ころころころ」の
繰り返しが耳に心地よい。

作 / 元永 定正
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1984年11月

5カ月頃から読んでいま
す。点を指でなぞったり
ページを触りながら
読むのが好きです。
(2歳児のママ)

滑り台を滑るように
スピーディーに読むと
楽しんでくれます。
(2歳4カ月児のママ)

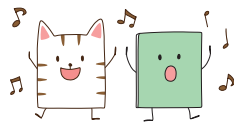


[がちゃがちゃ どんどん]

「がちゃがちゃ どんどん かーん
かーん ざあー」耳に入ってくる
いろいろな音を絵にした絵本。
赤ちゃんは音を身体で感じて
喜んでくれます。頭を柔らかくして
音と絵を楽しんでみませんか？

作 / 元永 定正
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1990年4月

絵に触りながら、身体を
縦に横に揺らしながら
リズムののって聞いて
います。
(2歳4カ月児のママ)



0歳から読んでほしい絵本

[あそぼうよ]

レオ=レオニが赤ちゃんのために作った絵本。2匹のねずみが1日色々なことをしてあそぶ様子をシンプルに描いています。

作・絵 / レオ=レオニ

訳 / 谷川 俊太郎

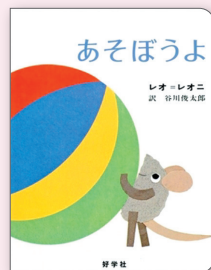
出版社 / 好学社

初版発行 / 2010年11月

誕生時に、長崎市からいただいた絵本。1歳頃～楽しく読んでいます。

今では、内容を覚えていてページをめくると子どもが話してくれたりします。

(2歳8か月児のママ)



[ペンぎんたいそう]

「ぺんぎんたいそうはじめのよ」元気のよいかげ声で体操はじめ! 「くびをのぼして～ちぢめて～」動きがとてもユニーク。つられて身体が動きます。

作 / 齋藤 慎

出版社 / 福音館書店

初版発行 / 2016年6月

ペンギンの動きに合わせて、子どもが真似しています。

(2歳8か月児のママ)

ペンギンを真似して首を伸ばすときの一生懸命な様子が可愛いです。

(2歳6か月児のママ)

[ぴょーん]

ページをめくるたびにいないきものが、「ぴょーん」とはねる。小さな子どもたちに読んであげると、いっしょになってとんでしまう体感型の縦開き絵本。

作・絵 / まつおか たつひで

出版社 / ポプラ社

初版発行 / 2000年6月

0歳からずっと好きです。初めは抱っこでぴょーんと飛んでいましたが、今では自分で飛びます。

体を動かせる絵本なので飽きないのだと思います。

(2歳4か月児のママ)



0歳から読んでほしい絵本



[なーんだ なんだ] [どーこだ どこだ] [だーれかな だーれかな]

「なーんだなんだ」歌のような言葉とともに、ゆっくりパンダができます。ゆったりしたリズムがこころよい。他の2冊も親子で楽しめる「とことこえほん」シリーズ。

作/カズコ G・ストーン
出版社/童心社
初版発行/2004年10月～

子どもが「パンダ」と言えるようになった本。赤ちゃんの登場が何とも愛らしいです。
(2歳5か月児のママ)

色彩がはっきりしていて見やすいようです。途中で元気よく動物の名前を言って教えてくれます。
(1歳2か月児のママ)

[でてこい でてこい]

「だれかかかれてるよ でてこい でてこい」「げこげこげこ」とかえる。「ぴょんぴょん」とうさぎ。色鮮やかなシルエットが印象的な絵本。

動物の影絵を見ながら、「次は何かなあ?」とクイズのように楽しみました。
(2歳4か月児のママ)

作/はやし あきこ
出版社/福音館書店
初版発行/1998年4月



[はしるの だいすき]

力強い線で描かれた動物たちが走ってきます。画面からはみ出るほどの勢い。「ばんかばんか」「ずんかずんか」動物たちの足音も楽しい。

「だれかしら」と親子で当てっこしながら読んでいます。
(2歳5か月児のママ)



作/わかやま しずこ
出版社/福音館書店
初版発行/2003年1月



0歳から読んでほしい絵本

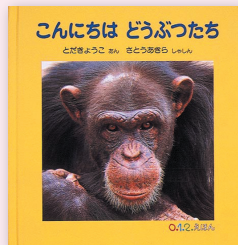
[こんにちは どうぶつたち]

動物の顔のアップ。どれも正面を向いています。じっとこちらを見ているように思わず「こんにちは」初めての写真絵本としても最適です。

案／とだ きょうこ
写真／さとう あきら
出版社／福音館書店
初版発行／1998年6月

犬猫に興味があったので写真付きでとても喜んでいました。

ライオンやゴリラのところは鳴き声もアドリブで。今では動物の名前を全部言えます。(2歳児のママ)

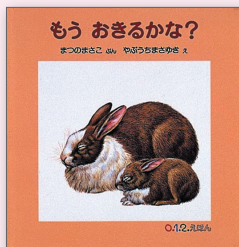


[もう おきるかな?]

「もうおきるかな？」ページをめくると「あー、おきた！」描かれている動物たちの動きが自然でまるで本物のよう。何度見ても飽きません。

文／まつの まさこ
絵／やぶうち まさゆき
出版社／福音館書店
初版発行／1998年6月

気持ちよさそうに寝ている動物があくびをする表情が好きで、1・2歳でよく読みました。(3歳児のママ)



[どうぶつのおかあさん]

動物のお母さんはどうやって子どもを運ぶのでしょうか？ねこはくわえて、さるやそうは？ 細部まで描きこまれた絵はさわりたくなるくらい。

文／小森 厚
絵／藪内 正幸
出版社／福音館書店
初版発行／1981年10月

「にゃんにゃん」「がー」と登場する動物をにこにこ眺めて楽しんでいます。(2歳5か月児のママ)

動物の名前を言ったり鳴き声をまねしたり私を指さしたりと楽しそうです。(1歳2か月児のママ)



0歳から読んでほしい絵本



[ぶうさんのプー]

こぶたのぶうさんのいろんな「プー」。おいしいはプー、だいすきのプー。ぶうさんといっしょにプーと言っているうちになんだか楽しくなってきます。

作 / 100%ORANGE
(及川賢治、竹内繭子)
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 2005年9月

0歳代からお気に入り。「ぶー」のくり返しと一緒に言います。
(2歳4か月児のママ)

長崎市からいただきました。「プープー」の繰り返しですが色んな気持ちの「プー」を楽しめます。

[はりねずみ かあさん]

子どもたちのためにリンゴをさがしに出かけた母さんハリネズミ。木から落ちてくるリンゴをみごとに背中の針で受けとめて持って帰ります。

文 / まつや さやか
絵 / M・ミトゥーリチ
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 1999年5月

厚紙なので自分でめくりやすいようです。一人でめくって読んでいることも。

リンゴとハリネズミを撫でています。
(9か月児のママ)



[よくきたね]

「おいでおいで」お母さんに呼ばれてよちよち歩きのお赤ちゃんが近づいていくと、お母さんがぎゅっとして「よくきたねいいこだね」優しいいっぱいの絵本。

文 / 松野 正子
絵 / 鎌田 暢子
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 2009年6月

絵がきれいで購入。「いいこだね」を読みながらギョッとすると喜んでいます。
(10か月児のママ)

親が読んでいてリズムが心地よいです。寝る前に抱っこしながら唱えます。
(9か月児のママ)

0歳から読んでほしい絵本

[どのはな いちばん すきな はな?]

「ぱーっとひらいたあかいはな
ふんわりそよそよそよぐはな」
色とりどりの花々が美しく咲い
ています。優しく問いかける
ように読んでください。

文／いしげ まりこ
絵／わきさか かつじ
出版社／福音館書店
初版発行／2017年3月

言葉のリズムが絵と
合っていて、ぱっ、ぽっ
ぽっ、ぴゅーんなど子
どものボキャブラリー
が増えて楽しめます。
(1歳児のママ)



[やさい]

トマト、だいこん、キャベツ…。
畑でどんなふう to 育てているの
でしょう？まるで本物のような
質感のある野菜が描かれて
いておいしそう。

作／平山 和子
出版社／福音館書店
初版発行／1982年9月

子どもはスーパーに
並んでいる野菜の姿しか
知らないので「こんな
ふうになってるんだね」
とびっくり!

好きな野菜を見つけ
ては食べる真似をし、
兄弟にも食べさせて
います。

(2歳児のママ)



[かおかお どんなかお]

楽しい顔、悲しい顔、笑った
顔、泣いた顔、いたづらな
顔…。様々な顔の表情を表
現した絵本。赤ちゃんはもち
ろん幼児も絵本を見ながら
百面相をして楽しめます。

作／柳原 良平
出版社／こくま社
初版発行／1988年

怖い顔は、とぼしたり
も! 顔マネすると、楽し
く読めます。
(3歳半児のママ)

絵本の中の顔の真似
をして一緒に楽しんで
います。
(2歳児のママ)



0歳から読んでほしい絵本



[ぶーぶー じどうしゃ]

バス、パトカー、消防自動車、救急車、郵便車、ごみ収集車などが、まるで本物のように精巧に描かれています。見開きいっぱい描かれた絵は迫力満点!

作/山本 忠敬
出版社/福音館書店
初版発行/1998年4月

1歳の頃は「ぶっぶー」など音を楽しんでましたが今は赤い車など色も楽しんでます。
(2歳4か月児のママ)

[ぶーぶーぶー]

あか、あお、きいろ、みどりのじどうしゃが、ぶーぶーぶー、ぶーぶーぶー、ぱっぱっぱっ、ぷっぷっぷっ。そこへ大きな車がやってきて…。

文/こかせ さち
絵/わきさか かつじ
出版社/福音館書店
初版発行/2007年4月

1歳から読んでいます。車や電車が好きだったので「ぶーぶー」の部分で強く読むと喜んでくれました。

色に興味を持つきっかけになりました。
(2歳児のママ)



[のりたいな]



路線バス、宅配車、ミキサー車、ダンプカー、移動販売車など、町ではたらく車が次々登場。色はパステル調の貼り絵。細かい部分も楽しめます。

作/みやまつ ともみ
出版社/福音館書店
初版発行/2019年3月

乗り物(働く車)が大好きで言葉を繰り返して見てくれます。

「乗ったことある?」と話を広げると「あおいバス」と答えてくれます。

(2歳3か月児のママ)

0歳から読んでほしい絵本

[バルンくん / バルンくんとともだち]

バルンバルンバルバルーッ！
バルンくんはサーキットで軽快に走っていきます。楽しそうなバルンくんの姿が子どもたちの心をとらえます。

車好きの息子が大好きな本。「バルンバルン」というエンジン音を声の調子を変えて読んでいました。
(2歳児のママ)

乗り物好きの息子のお気に入り。「バルンバルン」の音によく反応します。
(2歳4か月児のママ)

作 / こもり まこと
出版社 / 福音館書店
初版発行 / 2003年1月～



[のりもの つみき]



色鮮やかなページをめくるたびに積み木が色々な乗り物に変身。子どもの想像力も刺激します。穴あき絵本で絵が浮き出してくるようです。

いつもカウントダウンで高い高いをしているので最後のロケット発射で喜びます。

乗り物が大好きなのでめくって戻ると大忙しです。

作 / よねづ ゆうすけ
出版社 / 講談社
初版発行 / 2011年7月

[よいしょ / とどくかな / まかせとけ]

ダンプカーやブルドーザーなどが、「よいしょ!」のかけ声とともにそれぞれの動きを見せます。カラフルな工事車両が満載。同じシリーズもかけ声のくり返しが楽しいのりもの絵本。

乗り物が好きなのですぐ読みたがりました。リズムがあって楽しく読めます。
(2歳4か月児のママ)

「よいしょ」や「まかせとけ」と一緒に声に出して楽しそうです。
(3歳児のママ)

作 / 三浦 太郎
出版社 / 偕成社
初版発行 / 2007年6月



0歳から読んでほしい絵本



[おとうさん あそぼう]

「くまくの絵本」(全8冊)の1冊。おとうさんと身体を使って遊ぶくまくん。たかいたかい、かたぐるま、ひこうき…。おしまい「えほんよんで」

文／わたなべ しげお
絵／おおとも やすお
出版社／福音館書店
初版発行／1986年9月

絵本にでてくる遊びをお父さんにしてもらった後に読むと、遊びを思い出すのかニコニコしてページをめくっていました。

(1歳2か月児のママ)

[どんどこ ももんちゃん]

ももんちゃんが、どんどこどんどこ走っていきます。川を渡って山を登って、どんどこどんどこ。ももんちゃんの明るくて、たくましい姿にご注目!

ラストシーンが好きで、そこを見てギョツとしたために読んでいるようにも思えます。

(2歳児のママ)

最後のページでは子どもをぎゅっと抱きしめてほっこりして終わります。

(2歳4か月児のママ)

作／とよた かずひこ
出版社／童心社
初版発行／2001年9月



[いちにのさんぽ]

「いちに いちに いちにのさんぽ」弾むように読むと楽しい。つられて歩きだす子も。はっきりした絵とリズムカルなことばが子どもの心を引きつけます。

作・絵／ひろかわ さえこ
出版社／アリス館
初版発行／1999年2月

幼稚園の頃、「いちにのさんぽ」と口ずさみながら歩いていたのが楽しかったです。

言葉の繰り返しで子どもと一緒に読めました。

(小5のママ)



0歳から読んでほしい絵本

[おはよう]

おひさまが、雲のおふとん脱いで、歯をみがいて、顔を洗って『おはよう おはよう みんなおはよう』おひさまが、朝のすがすがしさを教えてくれます。

作／なかがわ りえこ
絵／やまわき ゆりこ
出版社／グランママ社
初版発行／1986年

おひさまの絵が可愛くてほっこりします。
(2歳児のママ)

おひさまが顔を洗ったり歯を磨いたり…自分と同じことをするのが面白いのか、よく見ていました。



[おいしいよ]



きみの好きな食べ物はなに？動物たちが大好物を教えてくれます。ウシさんは草が大好き。ネコさんは魚を口一杯にほおぼって…。夢中で食べる様子にこちらのお腹もぐ～。

最初のページに食べ物と並んでいるのを愛おしそうに見ています。
(2歳5か月児のママ)

文／かんざわ としこ 絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社 初版発行／2012年

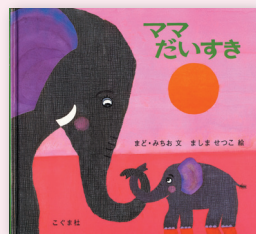
[ママだいすき]

おっぱいを飲んでいる子ブタたち、お母さんにペロペロなめられてくすぐったそうな子ネコなど様々な動物親子の幸せそうな姿に出会えます。

文／まど・みちお
絵／ましま せつこ
出版社／こぐま社
初版発行／2002年

どうぶつの親子が色彩豊かに描かれています。1～2歳によく読みました。

最後に抱っこしたくなる絵本です。
(3歳児のママ)



0歳から読んでほしい絵本

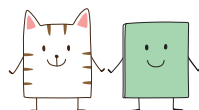


[こぐまちゃんのうんてんしゅ]

今日はこぐまちゃんがバスの運転手。お客さんをたくさん乗せると「はっしゃ おーらいぶっぶうー」と走り出します。幼児の想像力豊かな遊びの世界が楽しめます。

作/わかやま けん
出版社/こぐま社
初版発行/1971年

毎回「どっしん ぽんしょうとつだ」のここでは痛そうな表情になってました。
(2歳児のママ)



[しろくまちゃんのほっとけーき]

しろくまちゃんがホットケーキ作り。卵を割って、牛乳を入れて…。焼き上がったらかぐまちゃんと二人で「おいしいね」ホットケーキの焼ける場面は子どもたちに大人気。

作/わかやま けん
出版社/こぐま社
初版発行/1972年

ひとつ、ふたつ、みっつと数を数えるのを楽しんでました。

卵が食べられない息子もホットケーキを食べる子の気持ちになれます。

(3歳3カ月児のママ)



[さよならさんかく]

「さよならさんかく またきてしかく…」おなじみのことは遊びを楽しく展開。元歌の「四角は豆腐 豆腐は白い」の連想ばかりでなく四角のページでは四角い形の物がたくさん。

作/わかやま けん
出版社/こぐま社
初版発行/1977年

左ページの絵から知っている物を見つけながら読みました。
(3歳児のママ)

節をつけて読むと、一緒に歌ってくれるようになりました!
(3歳児のママ)



0歳から読んでほしい絵本

[だれかしら / なにかしら]

とんとんとん…「だれかしら？」
誕生日のお祝いに来てくれたのは動物たち。わかっていても何度でも楽しめます。『なにかしら』は予想外の展開が愉快。

作 / 多田 ヒロシ
出版社 / 文化出版局
初版発行 / 1972年6月

動物を当てっこしながら読みました。
(2歳5か月児のママ)

パパが息子より興味深く読んでいました。当てっこの難易度が高い?!
(2歳5か月児のママ)



[でんしゃ]



貨物列車や機関車、線路を直すおじさん、駅で乗り降りする人など、走行中に見える風景を明快な絵とシンプルな言葉で表現。ストーリーのある乗り物絵本。

作・絵 / バイロン・バートン
訳 / こじま まもる
出版社 / 金の星社
初版発行 / 1992年

電車のおもちゃを持ってきて「いっしょ」と教えてくれます。
(1歳8か月児のママ)

電車が出ると「あ!」と言って喜んだり、線路をなぞって見えています。
(1歳11か月児のママ)

[うんちがぼとん]

まあくんがおまるにすわって、うんちとおしっこできるかな? 「でたかな?」「まだまだ」のやり取りが楽しい。世界で読まれているイスラエルの作家による絵本。

絵・文 / アロナ・フランケル
訳 / さくま ゆみこ
出版社 / アリス館
初版発行 / 1984年2月

トイレトレーニング未完了の息子が、神妙な顔をして聞き入っていました。
(2歳4か月児のママ)

「でた!」のページを隠して読んでいました。お気に入りのページはポロポロです。
(2歳児のママ)



2、3歳くらいから楽しめる絵本



[あのやまこえて どこいくの]

「ありさんありさんどこいくの?」「あのやまこえてこめつぶかいに」ありさんはこめつぶをどうするのかな? 思いがけない展開に笑顔が。

作／ひろかわ さえこ
出版社／アリス館
初版発行／1993年9月

2歳頃から何度も声に出して一緒に読んでいました。

ママが質問する役、子どもが答える役になって遊ぶように読んで楽しかったです。
(3歳9か月児のママ)

[たべたの だあれ / かくしたの だあれ]

どちらも絵の中に答えがあるクイズのような絵本。わかっていても何度も読んで楽しめます。あまり絵本に馴れていない子どもにもおすすめ。

2歳半くらいから絵を見て「違うのはどれ?」と聞くと指さして楽しめるように。
(2歳8か月児のママ)

作／五味 太郎
出版社／文化出版局
初版発行／1977年6月

ここだよ!と見つけると得意げに教えてくれます。(2歳児のママ)



[まます すきです すてきです]

不思議で奇妙なしりとり遊びの絵本。「たぬきぎつねこ」で始まって、ページをめくるたびにおかしな世界が。声に出して言葉のリズムを楽しんで。

文／谷川 俊太郎
絵／タイガー立石
出版社／福音館書店
初版発行／1992年2月

しりとりの中に出てくる食べ物を見つけて、指差しながら読んでいます。
(2歳5か月児のママ)



2、3歳くらいから楽しめる絵本

[わにわにのおふるーシリーズ]

ワニのわにわにはお風呂が大好き。シャワーをマイクにして歌う姿は最高! ちょっと不気味な木版画のわにわにから目が離せません。

文/小風 さち
絵/山口 マオ
出版社/福音館書店
初版発行/2004年10月～

ページをめくるたびに
出てくるワイルドな
わにを指さして楽しんで
います。

(2歳児のママ)

わにわにの動きを表す
音とちよっぴり怖くて
可愛い絵に夢中でした。

(2歳児のママ)



[おおきくなりたい こりすのもぐ]



ひとりで食べ物やさがしに
出たこりすのもぐ。木の芽、
花、どんぐり…。「いっぱい
たべたから、おおきくなった
でしょ」大きくなることへの
憧れが伝わってきます。

文/征矢 清 絵/夏目 義一
出版社/福音館書店
初版発行/2009年4月

まるで写真のような
絵を小さな手でさすり
ながら読んでいました。

(小1のママ)

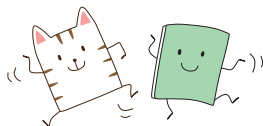
[ぞうくんのさんぽーシリーズ]

ぞうくん、かばくん、わにくん
と乗って行って、さいごに
かめくんが乗るとどうなる?
とぼけた感じで何度読ん
でも面白い。

作・絵/なかの ひろたか
レタリング/なかの まさたか
出版社/福音館書店
初版発行/1977年4月～

「うわーっ」「どっぼー
ん」のところで一緒に
転げて笑っています。

(2歳4か月児のママ)



2、3歳くらいから楽しめる絵本



[せんろはつづく - シリーズ]

子どもたちが線路をつないでいきます。山があったらトンネル、川があったら鉄橋。工夫しながら線路をつなぐ子どもたちがいいなあ。

文／竹下 文子
絵／鈴木 まもる
出版社／金の星社
初版発行／2003年10月～

乗り物好きの息子がよくリクエストします。絵がほっこりします。
(2歳5か月児のママ)

電車好きの息子の夫のお気に入り。一緒に声を出して読んでいました。
(2歳児のママ)

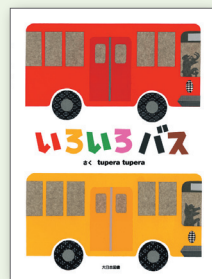
[いろいろバス]

色とりどりのバスに乗りおりする、あんなモノやこんなモノ。思わずクスッと笑ったり、えーっとビックリしたり！ユーモアたっぷりのおしゃれな色あそび絵本。

作／tupera tupera
出版社／大日本図書
初版発行／2013年5月

いろんな色のバスが出るので読んでいて色を覚えました。

最後にバスから降りてくるものを見て「これは〇〇だね～」と楽しく読みました。
(小1のママ)



[ちいさなねこ]

おかあさんねこが見ていない間に外へ出てしまったこねこ。子どもや車、大きな犬。危険なものがいっぱい。おかあさんねこに助けられて、あーよかった。

文／石井 桃子
絵／横内 襄
出版社／福音館書店
初版発行／1967年1月

ねこ好きの息子が「にゃんにゃん」と絵を愛でながら読んでいます。
(2歳5か月児のママ)

ねこがお母さんの元に戻れたら「よかったね」と優しい一言が出ました。
(2歳児のママ)



2、3歳くらいから楽しめる絵本

[おおきなかぶ]

とてつもなく大きく育ったかぶ。
おじさんがひっぱっても抜け
なくて、おばあさんをよんできま
す。「うんとこしょ、どっこいしょ」
のかけ声が楽しいロシアの昔話。

再話 / A・トルストイ

画 / 佐藤 忠良

訳 / 内田 莉沙子

出版社 / 福音館書店 初版発行 / 1966年6月

「うんとこしょ、どっこい
しょ」は忘れられない
フレーズ。

庭に子どもたちが集ま
れば絵本の中の光景
が自然と再現されて
います。

(6歳児のママ)



[てぶくろ]

森の中でおじさんが落とした
手袋。ねずみがみつくて中に入っ
て暮らし始めると、動物たちが
次々やってきて「わたしもいれて」
想像が広がるウクライナの昔話。

絵 / エウゲーニー・M・ラチョフ

訳 / うちだ りさこ

出版社 / 福音館書店

初版発行 / 1965年11月

この手袋はそんなに大
きいの？ こんなに入っ
たら破れちゃうよ！

もう無理なのに～と
言いながら、窓もつい
た！と喜んで見ていま
した。

(小1のママ)

[おばけのバーバパパ]

姿を自由に変形できるおば
けのバーバパパは火事場で
大活躍して、町の人気者に。
バーバー一家のお話を楽しむ
のなら、ぜひこの本から！

作 / アネット・チゾン、タラス・テイラー

訳 / やました はるお

出版社 / 偕成社

初版発行 / 1972年6月

パパが小さい時のお気
に入りで懐かしそうに
読んであげていました。

(2歳5か月児のママ)

バーバパパが本当にい
たら…あれやりたい！と
一緒に妄想しています。

(小1、5歳児のママ)



4、5歳くらいから楽しめる絵本



[11ぴきのねこ]

11ぴきののらねこたちが怪魚を生け捕りにしようと大奮闘。いざ食べようとする…。あつ!と驚くどんでん返しが大人気。

作／馬場 のぼる
出版社／こぐま社
初版発行／1967年

大きな魚に立ち向かうところが好きなようです。

大きな魚が骨だけになると「あ～あ食べちゃった」と楽しんでいました。

(小2のママ)

[からすのパンやさん]

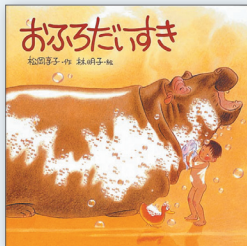
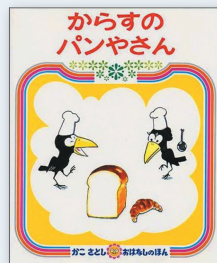
いずみがもりのからすのまちのパンやさんは、子どもたちの意見を参考にして、すてきな形のパンをどっさり焼きました。見開きいっぱい描かれたユニークなパンの数々は圧巻。

作・絵／かこ さとし
出版社／偕成社
初版発行／1973年9月

かこさんカラスを見つけると大喜び。

見開きでたくさんのパンが登場する所は一つ一つじーつと見て笑っています。

5歳頃から今も読んでいて大好きです。
(小1のママ)



[おふろだいすき]

ぼくはおふろがだいすき。あひるのプッカをつれて入ると、おふろの底から大きなかめが。次にペンギン、オットセイ、かば、くじらまで! 空想がどこまでも広がる絵本。

作／松岡 享子 絵／林 明子
出版社／福音館書店
初版発行／1982年4月

5歳の頃おふろの嫌いでしたが、絵本のおふろは大好きで今も一人で読んでいます。

(小1のママ)

ペンギンの早口言葉を子どもも真似して楽しんでいました。

(5歳児のママ)

4、5歳くらいから楽しめる絵本

[ぼくのお風呂 - シリーズ]

絵本の中にも表紙裏にも楽しいお風呂がいっぱい。奇想天外なストーリーはもちろん、絵探しも楽しめて、何度もくり返し見たくなる絵本。

作 / 鈴木 のりたけ
出版社 / PHP研究所
初版発行 / 2010年6月～

リズムカルな文面に、自然と声を揃えて読んでしまうくらい大好き。

もじゃもじゃ頭のサングラスを探すのが楽しいようです。

(小4のママ)



[がまんのケーキ]

ケーキを目の前に、こいたろうくんとかめぞうさんは「がまんがまん」。けるこさんを待つけれど…。ユーモアたっぷり人情絵本!

作 / かがくい ひろし
出版社 / 教育画劇
初版発行 / 2009年9月

ケーキを我慢する亀をソワソワして見ているようでした。

最後のページの絵のインパクトは笑えます。

5歳位から今でも読んでいます。

(小3のママ)



[うんちっち]

うさぎの子が言う言葉はただひとつ。いつでもどこでも、うんちっち。ところがある時…。子どもたちへの読み聞かせで大人気! フランスのロングセラー絵本。

作 / ステファニー・ブレイク
訳 / ふしみ みさを
出版社 / あすなる書房
初版発行 / 2011年11月

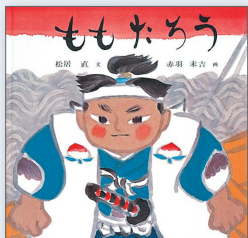
「うんちっち」のところは待ち構えたように一緒に「うんちっち」と読みます。

最後の言葉も大ハマり! 読み手も声色を変えて楽しんでいます。

(小1のママ)



4、5歳くらいから楽しめる絵本



[ももたろう]

おばあさんが川で洗濯をしていると大きな桃が流れてきました。持って帰って切ってみると、出てきたのはかわいい男の子。力強い絵で真の昔話を楽しむ絵本。

文／松居 直
絵／赤羽 末吉
出版社／福音館書店
初版発行／1965年2月

お遊戯会の演目だったので食い入るように絵を追っていました。
(小1のママ)



[三びきのこぶた]

こぶたの兄弟が家をつくるイギリスの昔話。最初のこぶたはワラ、2番目は木の枝で。どちらもおおかみに吹き飛ばされ食べられてしまいます。三番目のこぶたはどうなる？

現代風にアレンジされたものではなく、原作に忠実な「本物」の昔話。

絵も気に入っています。
(小4のママ)

絵／山田 三郎 訳／瀬田 貞二
出版社／福音館書店
初版発行／1967年4月



[かいじゅうたちのいるところ]

マックスがおおかみのかっこうをして大暴れ。夕飯ぬぎで寝室へやられます。すると寝室は森や野原になり、ボートで着いたのは「かいじゅうたちのいるところ」

作／モーリス・センダック
訳／じんぐう てるお
出版社／富山房
初版発行／1975年12月

ちょっぴり怖くてドキドキするの、じっと聞いていました。
(3歳児のママ)



4、5歳くらいから楽しめる絵本

[パンやの くまさん—シリーズ—]

くまさんはパンやパイ、お誕生日のケーキを車に積んで売りに行きます。ガランガランとかねを鳴らして…。くまさんの働く姿が子どもたちを引きつけます。

作・絵／フィービ・ウォージントン
作・絵／セルピ・ウォージントン
訳／まさき るりこ

出版社／福音館書店 初版発行／1987年5月

くまさんの一日がほのほの感じられて親子でゆったりした気持ちになります。

小さいサイズもお気に入りのようです。

(2歳児のママ)



[はなのすきなうし]

スペインの牧場で暮らすフェルジナンドは花のにおいが大好き。闘牛に興味はないのに偶然強い牛だと思われ闘牛場に連れていかれ…

文／マンロー・リーフ
絵／ロバート・ローソン
訳／光吉 夏弥

出版社／岩波書店 初版発行／1954年12月

娘は、花のすきな牛と一緒に花のにおいをかいでいるようでした。

私も母の深い愛情とフェルジナンドの自分らしさに共感できる絵本でした。

(小1のママ)

迷った時にはロングセラー絵本

絵本の中には初版が出てから何度も版を重ね長く読み継がれているものがあります。そういう絵本には子どもをひきつける魅力があります。ロングセラーを読んでその魅力を味わってください。

[ひとまねこざる]

文・絵／H. A. レイ
訳／光吉 夏弥

出版社／岩波書店
初版発行／1954年12月
(現在入手可能な本は1998年初版)



[木はいいなあ]

作／ユードリイ 絵／シーモント
訳／さいおんじ さちこ

出版社／偕成社
初版発行／1976年4月



[もりのなか]

文・絵／マリー・ホール・エッツ
訳／まさき るりこ

出版社／福音館書店
初版発行／1963年12月



[絵本リストの色分け]
 ● わらべうた、童謡の絵本
 ● 初めて読んでほしい絵本

● 0歳から読んでほしい絵本
 ● 2、3歳から読んでほしい絵本
 ● 4、5歳から読んでほしい絵本

[ア行]

- あかちゃんのエほん-全5冊.....13
- あがりめ さがりめ.....6
- あそび(あかちゃんのエほん).....13
- あそぼうよ.....21
- あのやまこえて どこいくの.....32
- あぶくたった.....7
- あんたがた どこさ.....6
- いいおかお.....14
- いちじく にんじん.....4
- いちにのさんぽ.....28
- いっしょに うたつて!.....9
- いない いない ばあ.....11
- いぬ(パーニンガムのちいさいえほん).....15
- いぬが いっぱい.....11
- いろいるパス.....34
- うえきやの くまさん(パンやの くまさん シリーズ)39
- うたえほん.....9
- うたえほんII.....9
- うたえほんIII.....9
- うんちがぼとん.....31
- うんちうち.....37
- おいしいよ.....29
- おおきくなりた い こりすのもく.....33
- おおきなかぶ.....35
- おせんべ やけたかな.....6
- おつきさまごんぼんは.....14
- おつむてんで.....14
- おでかけ ばいばい.....17
- おててがでたよ.....15
- おとうさん あそぼう.....28
- おぼけのパーバババ.....35
- おはよう.....29
- おふるだいき.....36
- おべんとうばこのうた.....8

[カ行]

- かいじゅうたちのいるところ.....38
- かかおお どんなかお.....25
- かくしたの だあれ.....32
- かぞく(あかちゃんのエほん).....13
- がたん ごんが たん ごん.....10
- がちゃがちゃ どんどん.....20
- がっこう(パーニンガムのちいさいえほん).....15
- がまんのケーキ.....37
- かめくんのさんぽ(ぞうくんのさんぽ シリーズ)33
- からすのパンやさん.....16
- かん かん かん.....12
- 木は いいなあ.....39
- きゅつ きゅつ きゅつ.....10
- くだもの.....13
- くつくつあるけ.....15

- くつついた.....11
- くらいくらい.....17
- こくまちゃんのうんでんしゅ.....30
- こぶこぶ こぼこぼ.....20
- ころ ころ ころ.....20
- こんにはち どうぶつたち.....23

[サ行]

- さよなら さんかく.....30
- 三びきのこぶた.....38
- しごと(あかちゃんのエほん).....13
- したく(あかちゃんのエほん).....13
- じゃあじゃあ びりびり.....12
- 11びきのねこ.....36
- しろくまちゃんのほっとけーき.....30
- せきたんやの くまさん(パンやの くまさん シリーズ)39
- せんべ せんべ やけた.....5
- せんろはつづく-シリーズ.....34
- せんろはつづくどこまでつづく-シリーズ.....34
- せんろはつづくまだつづく-シリーズ.....34
- ぞうくんのあめふりさんぽ-シリーズ.....33
- ぞうくんのおおかせさんぽ-シリーズ.....33
- ぞうくんのさんぽ-シリーズ.....33
- ぞうさん.....8

[タ行]

- だーれかな だーれかな.....22
- だっころりん.....18
- だっだあー(愛蔵版).....18
- たべたの だあれ.....32
- だるまさんが.....16
- だるまさんと.....16
- だるまさんの.....16
- だれかしら.....31
- ちいさなねこ.....34
- ちびすけ どここい.....5
- でてこい でてこい.....22
- てぶくる.....35
- でんしゃ.....31
- てん てん てん.....19
- どうぶつのおかあさん.....23
- どーこだ どこだ.....22
- どどこかな.....27
- ととけっこう よがあげた.....5
- どのはな いちばん すきな はな?.....25
- ともだち(あかちゃんのエほん).....13
- どんぐり ころちゃん.....8
- どんどこ ももんちゃん.....28
- どんどばし わたれ.....6

[ナ行]

- なーらんだ.....16
- なーんだ なんだ.....22
- なにかしら.....31

- ねずみ ねずみ どーこ いきや?.....7
- ねこが いっぱい.....11
- のりたいな.....26
- のりもの つみき.....27

[ハ行]

- パーニンガムのちいさいえほん.....15
- ばいばい.....16
- はしるの だいき.....22
- はなのすきなうし.....39
- はりねずみ かあさん.....24
- バルンくん.....27
- バルンくんとともだち.....27
- パンやの くまさん-シリーズ.....39
- ひとまねこざる.....39
- びよん.....21
- ぶうごんのプー.....24
- ぶーぶー じどらしゃ.....26
- ぶー ぶー ぶー.....26
- へっこぶつと たれた.....7
- べんぎんたいそう.....21
- ほくのおふる-シリーズ.....37
- ほくのトイレ-シリーズ.....37
- ほくのふんとん-シリーズ.....37
- ほんちんぼん.....19

[マ行]

- まかせとけ.....27
- まてまてまて.....4
- ママだいき.....29
- まます すきです すてきです.....32
- まるくて おいしいよ.....19
- まるてん いろてん.....18
- みんなでね.....16
- めんめん ばあ.....17
- もう おきるかな?.....23
- もうふ(パーニンガムのちいさいえほん).....15
- ももこももこ.....12
- ももたろう.....38
- もりの なか.....39

[ヤ行]

- やさしい.....25
- ゆうびんやの くまさん(パンやの くまさん シリーズ)39
- ゆき(パーニンガムのちいさいえほん).....15
- よいきよ.....27
- よくきたね.....24

[ワ行]

- わにわにとあかわに-シリーズ.....33
- わにわにのおおけが-シリーズ.....33
- わにわにのおでかけ-シリーズ.....33
- わにわにのおふる-シリーズ.....33
- わにわにのごちそう-シリーズ.....33

おひざで絵本

～0歳からのオススメ絵本～

□発行日	2020年2月22日
	長崎市立図書館
□発行	〒850-0032 長崎県長崎市興善町1番1号
	TEL:095-829-4946 FAX:095-829-4948
	とらねこ文庫(代表:廣瀬 美由紀)
□企画・制作	toranekobunko@lib.bbq.jp
□編集	廣瀬 美由紀 / 伊藤 真理 / 小島 由華 / 松川 百合
□デザイン	浜崎 稔
□イラスト	林田 志帆

制作にあたり、
 たくさんの
 子育て中の方々に
 ご協力いただき
 ました。







おひげで絵本

~0歳からのオススメ絵本~